

## 8. 養殖魚安定生産・供給技術開発委託事業 (抜本的な生産コストの抑制手法の開発)

松倉一樹

本プロジェクトは、国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所を中核機関として、東町漁業協同組合、鹿児島県水産技術開発センター、愛媛県農林水産研究所、有馬屋水産株式会社、東京海洋大学、長崎県総合水産試験場が参画し、主要な養殖魚種であるブリおよびマダイについて、低魚粉飼料への転換、給餌量の抑制等の条件を組み合わせた飼育試験を現場レベルで行い、従来の飼育方法との比較により、生産コストの削減効果を評価する。

最終的には、生産コストに見合った養殖生産体制の構築に資することを目的とする。本年度、当試験場では、ブリおよびマダイを対象として県内養殖漁場で行った低魚粉飼料の実証試験に協力した。ブリについては、低魚粉飼料を長期間給餌した魚の健全性を評価し、マダイについては、低魚粉飼料を長期間給餌した場合におけるコスト削減効果を検証した。

(担当：松倉)